



2022年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社 清水銀行
コード番号 8364 URL <https://www.shimizubank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 岩山 靖宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合統括部長 (氏名) 大木 康正

TEL 054-353-5162

四半期報告書提出予定日 2021年11月18日

配当支払開始予定日

2021年12月10日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	14,340	2.7	3,285	24.8	2,450	26.4
2021年3月期中間期	13,961	4.7	2,631	4.2	1,938	23.0

(注) 包括利益 2022年3月期中間期 2,811百万円 (39.0%) 2021年3月期中間期 4,612百万円 (50.3%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期中間期	211.49	210.75
2021年3月期中間期	167.29	166.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期中間期	1,780,326	89,516	4.9
2021年3月期	1,795,397	87,071	4.8

(参考) 自己資本 2022年3月期中間期 88,023百万円 2021年3月期 85,610百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		30.00		30.00	60.00
2022年3月期		30.00			
2022年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	2.8	3,500	0.7	2,200	1.7	189.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

・特定子会社の異動には該当していませんが、次の連結子会社が異動しております。

・清水銀キャリアアップ株式会社は、2021年6月30日付で解散し、2021年9月30日付で清算結了したため、当中間期より連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期中間期	11,641,318 株	2021年3月期	11,641,318 株
期末自己株式数	2022年3月期中間期	53,962 株	2021年3月期	54,201 株
期中平均株式数(中間期)	2022年3月期中間期	11,587,356 株	2021年3月期中間期	11,586,273 株

(個別業績の概要)

1. 2022年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	11,324	1.3	3,104	10.9	2,340	7.9
2021年3月期中間期	11,179	6.6	2,798	12.1	2,170	32.5

	1株当たり中間純利益	
	円 銭	
2022年3月期中間期	202.01	
2021年3月期中間期	187.30	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2022年3月期中間期	1,770,033		85,259		4.8	
2021年3月期	1,784,805		82,912		4.6	

(参考)自己資本 2022年3月期中間期 85,165百万円 2021年3月期 82,840百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	21,000	4.0	3,400	0.9	2,300	4.1	198.50	

中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
3. 中間財務諸表	9
(1) 中間貸借対照表	9
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11

※2022年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により消費者マインドに足踏みの動きが見られ、依然として厳しい状況が続きました。企業活動は、製造業を中心に持ち直しの動きが見られるものの、半導体不足や感染症によるサプライチェーンへの影響懸念等から不透明感は継続しております。

当行の主要営業基盤である静岡県経済につきましては、感染症再拡大の影響により、まん延防止等重点措置や緊急事態措置の対象地域となったことから飲食・宿泊等のサービス消費における下押し圧力が強まりました。また、輸送用機械等の製造業を中心に部品供給の遅れが生じ、生産や輸出の増勢が鈍化しました。

このような状況のなか、当中間期の連結業績は以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息及び役務取引等収益の増加等により、前年同期比3億78百万円増加の143億40百万円となりました。経常費用は、経費及び与信関係費用の減少等により、前年同期比2億75百万円減少の110億54百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比6億53百万円増加の32億85百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金は、地域に密着した営業基盤の拡充に努めた結果、1兆5,132億円となりました(前年同期比662億円増加、前期末比225億円増加)。

個人預かり資産は、お客さまの多様化するニーズにお応えするなか、個人預金、個人年金保険等が増加した結果、1兆2,796億円となりました(前年同期比583億円増加、前期末比259億円増加)。

貸出金は、地域金融機関としてお客さまの資金需要に積極的に応えした結果、1兆2,072億円となりました(前年同期比64億円増加、前期末比29億円増加)。

有価証券は、市場動向を注視しつつ、機動的な運用を行った結果、3,058億円となりました(前年同期比117億円減少、前期末比43億円減少)。

このような結果から、総資産は、1兆7,803億円となりました(前年同期比262億円増加、前期末比150億円減少)。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の連結経営成績は、2021年5月14日に公表いたしました業績予想を上回る進捗となり、10月25日に業績予想の修正を開示しました。なお、今後の経済情勢等が不透明であることなどから、2022年3月期通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当中間連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
現金預け金	216,190	206,136
商品有価証券	523	559
金銭の信託	1,000	1,003
有価証券	310,148	305,846
貸出金	1,204,283	1,207,223
外国為替	1,939	1,396
リース債権及びリース投資資産	13,628	14,114
その他資産	30,482	26,586
有形固定資産	17,420	17,398
無形固定資産	503	439
退職給付に係る資産	206	201
繰延税金資産	2,308	2,071
支払承諾見返	4,658	4,905
貸倒引当金	△7,897	△7,558
資産の部合計	1,795,397	1,780,326
負債の部		
預金	1,490,782	1,513,295
譲渡性預金	69,400	-
債券貸借取引受入担保金	22,914	32,774
借入金	111,455	131,492
外国為替	9	11
その他負債	8,172	7,452
賞与引当金	469	463
退職給付に係る負債	357	308
役員退職慰労引当金	47	30
繰延税金負債	60	74
支払承諾	4,658	4,905
負債の部合計	1,708,326	1,690,809
純資産の部		
資本金	10,816	10,816
資本剰余金	7,643	7,642
利益剰余金	64,060	66,139
自己株式	△248	△245
株主資本合計	82,272	84,352
その他有価証券評価差額金	2,991	3,300
繰延ヘッジ損益	71	99
退職給付に係る調整累計額	275	271
その他の包括利益累計額合計	3,337	3,671
新株予約権	72	93
非支配株主持分	1,388	1,399
純資産の部合計	87,071	89,516
負債及び純資産の部合計	1,795,397	1,780,326

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
経常収益	13,961	14,340
資金運用収益	7,799	7,847
(うち貸出金利息)	6,184	6,238
(うち有価証券利息配当金)	1,557	1,538
役務取引等収益	5,013	5,330
その他業務収益	418	645
その他経常収益	730	516
経常費用	11,329	11,054
資金調達費用	307	224
(うち預金利息)	179	143
役務取引等費用	2,994	3,043
その他業務費用	47	117
営業経費	7,731	7,489
その他経常費用	249	179
経常利益	2,631	3,285
特別利益	-	31
固定資産処分益	-	31
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前中間純利益	2,631	3,316
法人税、住民税及び事業税	567	771
法人税等調整額	113	60
法人税等合計	680	832
中間純利益	1,951	2,484
非支配株主に帰属する中間純利益	13	34
親会社株主に帰属する中間純利益	1,938	2,450

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
中間純利益	1,951	2,484
その他の包括利益	2,660	326
その他有価証券評価差額金	2,636	302
繰延ヘッジ損益	△4	27
退職給付に係る調整額	28	△3
中間包括利益	4,612	2,811
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,599	2,784
非支配株主に係る中間包括利益	12	26

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,816	7,648	62,534	△257	80,741
会計方針の変更による累積的影響額			-		-
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,816	7,648	62,534	△257	80,741
当中間期変動額					
剰余金の配当			△289		△289
親会社株主に帰属する中間純利益			1,938		1,938
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△4		9	5
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	△4	1,648	9	1,653
当中間期末残高	10,816	7,643	64,183	△248	82,395

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	660	27	△320	367	59	1,343	82,512
会計方針の変更による累積的影響額						-	-
会計方針の変更を反映した当期首残高	660	27	△320	367	59	1,343	82,512
当中間期変動額							
剰余金の配当							△289
親会社株主に帰属する中間純利益							1,938
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							5
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,637	△4	28	2,661	13	10	2,685
当中間期変動額合計	2,637	△4	28	2,661	13	10	4,338
当中間期末残高	3,297	23	△291	3,028	72	1,354	86,851

当中間連結会計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,816	7,643	64,060	△248	82,272
会計方針の変更による累積的影響額			△23		△23
会計方針の変更を反映した当期首残高	10,816	7,643	64,036	△248	82,248
当中間期変動額					
剰余金の配当			△347		△347
親会社株主に帰属する中間純利益			2,450		2,450
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△1		2	0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	-	△1	2,103	2	2,103
当中間期末残高	10,816	7,642	66,139	△245	84,352

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	2,991	71	275	3,337	72	1,388	87,071
会計方針の変更による累積的影響額						△13	△37
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,991	71	275	3,337	72	1,374	87,033
当中間期変動額							
剰余金の配当							△347
親会社株主に帰属する中間純利益							2,450
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	309	27	△3	333	21	24	379
当中間期変動額合計	309	27	△3	333	21	24	2,483
当中間期末残高	3,300	99	271	3,671	93	1,399	89,516

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、役務取引等収益の一部について、従来は顧客からの対価受領時に一時点で収益を認識しておりましたが、財又はサービスが提供されたときに収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当中間連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当中間連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による中間連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響は今後一定期間継続すると想定しております。この期間においては、貸出先の経済活動に影響が生じるものの、政府等の経済対策や金融機関の支援により、貸出金等の信用リスクへの影響は多額とはならないとの仮定に基づき貸倒引当金を算出しております。また、税効果会計における課税所得については、当行グループの営業活動は一定の影響を受けるとの仮定に基づき見積りを行っております。

なお、当中間連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り及び見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

2. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
現金預け金	216,178	206,119
商品有価証券	523	559
金銭の信託	1,000	1,003
有価証券	310,524	306,194
貸出金	1,211,117	1,214,494
外国為替	1,939	1,396
その他資産	26,367	22,899
その他の資産	26,367	22,899
有形固定資産	16,639	16,648
無形固定資産	469	421
前払年金費用	12	10
繰延税金資産	2,214	1,981
支払承諾見返	4,658	4,905
貸倒引当金	△6,839	△6,601
資産の部合計	1,784,805	1,770,033
負債の部		
預金	1,494,257	1,516,827
譲渡性預金	69,400	-
債券貸借取引受入担保金	22,914	32,774
借入金	104,500	124,500
外国為替	9	11
その他負債	5,279	4,937
未払法人税等	914	774
リース債務	572	775
資産除去債務	45	36
その他の負債	3,746	3,351
賞与引当金	440	436
退職給付引当金	432	380
支払承諾	4,658	4,905
負債の部合計	1,701,892	1,684,774
純資産の部		
資本金	10,816	10,816
資本剰余金	7,413	7,413
資本準備金	7,413	7,413
利益剰余金	61,803	63,794
利益準備金	8,670	8,670
その他利益剰余金	53,133	55,124
別途積立金	50,632	52,132
繰越利益剰余金	2,501	2,992
自己株式	△248	△245
株主資本合計	79,784	81,778
その他有価証券評価差額金	2,984	3,287
繰延ヘッジ損益	71	99
評価・換算差額等合計	3,055	3,386
新株予約権	72	93
純資産の部合計	82,912	85,259
負債及び純資産の部合計	1,784,805	1,770,033

(2) 中間損益計算書

	(単位:百万円)	
	前中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
経常収益	11,179	11,324
資金運用収益	8,038	7,907
(うち貸出金利息)	6,213	6,275
(うち有価証券利息配当金)	1,767	1,562
役務取引等収益	1,983	2,271
その他業務収益	417	645
その他経常収益	739	499
経常費用	8,381	8,220
資金調達費用	308	237
(うち預金利息)	179	143
役務取引等費用	559	564
その他業務費用	42	115
営業経費	7,347	7,124
その他経常費用	123	178
経常利益	2,798	3,104
特別利益	-	31
特別損失	0	0
税引前中間純利益	2,798	3,135
法人税、住民税及び事業税	525	754
法人税等調整額	102	40
法人税等合計	628	794
中間純利益	2,170	2,340

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	10,816	7,413	7,413	8,670	54,632	△3,065	60,236
当中間期変動額							
剰余金の配当						△289	△289
別途積立金の取崩					△4,000	4,000	-
中間純利益						2,170	2,170
自己株式の取得							
自己株式の処分						△4	△4
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	-	△4,000	5,875	1,875
当中間期末残高	10,816	7,413	7,413	8,670	50,632	2,810	62,112

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△257	78,208	660	27	688	59	78,956
当中間期変動額							
剰余金の配当		△289					△289
別途積立金の取崩		-					-
中間純利益		2,170					2,170
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	9	5					5
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)			2,638	△4	2,633	13	2,646
当中間期変動額合計	9	1,885	2,638	△4	2,633	13	4,531
当中間期末残高	△248	80,093	3,298	23	3,322	72	83,488

当中間会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	繰越利益剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	10,816	7,413	7,413	8,670	50,632	2,501	61,803
当中間期変動額							
剰余金の配当						△347	△347
別途積立金の積立					1,500	△1,500	-
中間純利益						2,340	2,340
自己株式の取得							
自己株式の処分						△1	△1
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	-	1,500	491	1,991
当中間期末残高	10,816	7,413	7,413	8,670	52,132	2,992	63,794

	株主資本		評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△248	79,784	2,984	71	3,055	72	82,912
当中間期変動額							
剰余金の配当		△347					△347
別途積立金の積立		-					-
中間純利益		2,340					2,340
自己株式の取得	△0	△0					△0
自己株式の処分	2	0					0
株主資本以外の項目 の当中間期変動額 (純額)			303	27	331	21	352
当中間期変動額合計	2	1,993	303	27	331	21	2,346
当中間期末残高	△245	81,778	3,287	99	3,386	93	85,259